

樂美術館事業報告要旨

平成 26 年度

期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

事業報告要旨

I 美術館活動事業

1. 作品・資料公開活用に関して（詳細は別紙の通り）

(1) 展覧会活動

- 1) 春期特別展 定本 樂歴代 樂焼450年の歴史・伝統と創造
- 2) 夏期展 親子で見る展覧会 「シリーズ 樂ってなんだろう」
～手捏ねと轆轤制作～
- 3) 宗入生誕350年記念特別展 I 樂家五代宗入と尾形乾山
～元禄を駆け抜けた雁金屋の従兄弟ども～
- 4) 宗入生誕350年記念特別展 II 初源への視線
～樂家五代宗入と三代道入・四代一入・九代了入・十五代吉左衛門～
- 5) 琳派400年記念 樂歴代 裝飾への荷担・抑制と解放
～本阿弥家・尾形家の血脈を受け継ぐ～

(2) 手にふれる美術館活動（講演解説を含む）

- 1) 手にふれる樂茶碗鑑賞会、特別鑑賞茶会、親子でお茶一服、手にふれる展示

(3) 他機関との協力活動

- 1) 館外展示協力事業
- 2) 海外交流事業、他の美術館・博物館との協力事業
- 3) その他の機関・団体との協力事業

2. 保存・修復に関して

- 1) 海外出品作品（軸）の修復を行った。

3. 作品・資料収集に関して（作品リストは別紙の通り）

- 1) 新規購入作品2点を基本財産に繰り入れた。
- 2) 3件の作品寄贈を受け、作品12点を基本財産に繰り入れた。

II 研究・資料図書公開事業

- 1) 歴代解説小冊子はじめ研究図書資料を前年度に引き続き公開、販売した。
- 2) 新刊図書（展覧会図録）2刊を発行する。

III 学校・社会教育事業

- 1) 小・中・高等学校への協力活動として、「シリーズ 樂ってなんだろう」展
「親子で見る樂茶碗鑑賞会」、「親子でお茶一服」を開催した。
- 2) 研修授業・修学旅行学習への協力をした。
- 3) 小中学生対象の樂焼の歴史ワークシートを制作、配布した。
- 4) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力を行った。
地域社会への文化協力、社会教育活動
- 1) 生涯学習など、社会教育事業への協力を行った。
- 2) 地方文化団体の文化事業への協力を行った。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (1) 展覧会活動 (当館展示)

館展示事業

展示事業1 春期特別展 定本樂歴代 平成26年3月8日～7月21日

サブタイトル 樂焼450年の歴史 伝統と創造

昨年出版の『定本 樂歴代』に収録された樂家伝来の作品を展示。本展では、樂焼450年の歴史をたどりながら、各代の代表作を展示し、作行・特色等を解説、歴代の作陶の軌跡を鑑賞していただいた。

展示事業2 夏期展 親子で見る展覧会 シリーズ 樂ってなんだろう 平成26年7月26日～9月7日

サブタイトル 手捏ねと轆轤制作

手で粘土を捏ねあげ、篋で丹念に削って形づくる樂茶碗と、轆轤成形の作品と比較し、樂焼の特色ー樂茶碗の包みこむような柔らかく端正な姿ーを浮かび上がらせた。轆轤成形作品として、慶入作「萩茶碗」「露山焼」、15代吉左衛門作「萩茶碗」などを展示した。

展示事業3 宗入生誕350年記念特別展 I 樂家五代宗入と尾形乾山 平成26年9月12日～12月7日

サブタイトル 元禄を駆け抜けた雁金屋の従兄弟ども

尾形家から樂家に養子に入った宗入の生誕350年を記念する特別展。従兄弟・尾形乾山の色絵・鉄釉に彩られた華やかな造形と、長次郎茶碗に心を寄せ、侘びの世界へと深く入り込んでいった宗入の造形を対峙させ、その中に流れる元禄という時代の精神、そこに標したそれぞれの表現の有り様を浮かび上がらせた。

展示事業4 宗入生誕350年記念特別展 II 初源への視線 平成26年12月10日～平成27年3月1日

サブタイトル 樂家五代宗入と三代道入・四代一入・九代了入・十五代吉左衛門

初代長次郎を中心に据え、宗入の名品とともに、3代道入・4代一入・9代了入・15代吉左衛門の作品を展示し、5人の取り組みを通して、長次郎に心を寄せた作陶の本質・樂家歴代の伝統の核心に迫る展示とした。

展示事業5 琳派400年記念 樂歴代 裝飾への荷担・抑制と解放 平成27年3月7日～8月2日

サブタイトル 本阿弥家・尾形家の血脈を受け継ぐ

樂茶碗は初代長次郎の「侘び」の造形に始まり、本来、裝飾的表現とは対照的なもの。本展では、琳派400年の協賛として、「裝飾表現」に焦点をあて、樂歴代の裝飾への取り組みを追う展示とした。

I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (2) 手にふれる美術館活動

II. 手にふれる美術館

1. 手にふれる樂茶碗鑑賞会

当館所蔵の作品を手に触れて鑑賞する。当館所蔵作品は、茶碗をはじめとした茶の湯工芸品である。館付属の小間茶室で茶の湯道具組を再現、その後広間に移動し、作品を手にとって鑑賞。当館学芸員の解説、質疑応答を行う。

開催期日

定例 毎月1回開催 12回実施

特別開催

5月17日 淡交会青年部（総本部）30名 館長対応、篤人氏展覧会案内

9月30日・11月5日 淡交ツアー 20名・16名 副館長対応

5月25日 淡交会東京第6西青年部・淡交会山形青年部 25名

6月15日 淡交会大分青年部 30名 8月1日・10日 ホテルオークラ 12名・16名

11月8日 京都造形大学 14名 12月6日日経カルチャー 6名

2. 特別鑑賞茶会

当館所蔵作品を用いての茶会形式による作品鑑賞会。館長による作品解説、質疑応答を行う。

開催期日 各日曜日 8回実施

平成26年5月11日、6月8日、7月13日、9月14日、10月19日、12月14日、平成27年3月15日

平成27年2月9日（月）：宗入生誕350年特別記念茶会「雁金屋の従兄弟 宗入と乾山」

3. 手にふれる展示活動報告

「親子でお茶一服」を開催（中学生以下無料）

1. 平成26年5月5日（月・祝） 参加者 保護者 17名、小学生 10名、中学生 3名

2. 平成27年3月1日（日） 参加者 保護者 21名、小学生 13名、中学生 3名

＊淡交社取材（『なごみ』5月号掲載）

小・中学生の親子対象。副館長樂扶二子の解説による、親子でお茶一服を体験。樂茶碗でお茶を飲み、茶の湯文化、樂焼の世界に触れた。

「親子で見る展覧会 解説とワークショップ」を開催（中学生以下無料）

平成26年8月17日（日）

参加者 保護者26名、小学生18名、中学生5名

館長樂吉左衛門が子供達に樂焼解説をし、その後、子供達は実際に轆を吹いたり、窯道具に触れ、粘土で茶碗も制作した。遊び感覚の中で子供の自発的な観察力を発揮させるよう工夫を凝らした。活発な質問に答え、盛会であった。

Ⅱ 研究・資料図書公開事業

研究・資料図書公開事業報告

- ・宗入生誕350年記念本『月と華』を出版した。
- ・『RAKU : A Legacy of Japanese Tea Ceramics』（『定本 樂歴代』の英語版 青幻舎）を刊行した。

Ⅲ-1. 学校・社会教育事業（小中高等学校関係）

学校・社会教育事業報告

1. 小、中、高等学校協力事業報告

- 協力事業1** 展覧会「シリーズ 樂ってなんだろう」
手捏ねと轆轤制作 会場 樂美術館
日時 平成26年7月26日～9月7日
小学生にも理解できるように解り易く樂焼の歴史、特色を解説。今回は特に手捏ねの技法で形作られた樂茶碗の特徴（包み込むような柔らかく端正な姿）を、轆轤成形の作品と比較し、浮かび上がらせた。また、手に触れる展示も行った。
- 協力事業2** 「親子で見る展覧会」解説とワークショップ
小中学生対象 会場 樂美術館・第二展示室
日時 平成26年8月17日（日）
館長樂吉左衛門が子供に樂焼解説をし、その後、子供達は実際に轆を吹いたり、窯道具に触れるなどし、粘土で茶碗も制作した。遊び感覚の中で子供の自発的な観察力を発揮させるよう工夫を凝らした。活発な質問に答え、盛会であった。
- 協力事業3** 「親子でお茶一服」 小中学生対象 会場 樂美術館 茶室
日時 平成26年5月5日（月・祝）、平成27年3月1日（日）
副館長樂扶二子が小中学生の親子を対象に特別鑑賞茶会を行い、小間での空間体験、広間での茶の湯体験を指導解説した。実際に古い樂茶碗でお茶をいただく体験に、子共も親も興味津々。緊張しながらも、熱心に質問をしていた。
- 協力事業4** 研修授業・修学旅行学習として
- 静岡県立豊田中学校（修学旅行） 5名 平成26年5月18日（日）
春期特別展「定本 樂歴代」を鑑賞する。
- 明治大学附属明治中学校（修学旅行） 6名 平成26年5月21日（水）
春期特別展「定本 樂歴代」を鑑賞、学芸員が解説をする。
- 盛岡白百合学園高等学校 茶道部 4名 平成26年6月21日（土）
表千家家元見学後來館。春期特別展「定本 樂歴代」を鑑賞する。
- 和歌山県立神島高校 18名 平成26年8月1日（金）
黒窯制作ビデオ上映の後、夏期展「シリーズ 樂ってなんだろう 手捏ねと轆轤」を鑑賞する。
- 東大阪府立楠根中学校 茶道部 3名 平成26年8月28日（木）
大東市私立四條畷学園高校 1名
夏期展「シリーズ 樂ってなんだろう 手捏ねと轆轤」を鑑賞する。
- 東京都立富士高等学校附属中学校（修学旅行） 12名 平成26年10月30日（木）
宗入生誕350年記念特別展Ⅰ「樂家五代宗入と尾形乾山」を鑑賞する。
- 京都府立陶工高等技術専門校 12名（生徒10名 先生2名） 平成26年11月28日（金）
宗入生誕350年記念特別展Ⅰ「樂家五代宗入と尾形乾山」を鑑賞する。

Ⅲ-2. 学校・社会教育事業（大学・各種学校関係）

学校・社会教育事業報告

2. 大学、各種学校への協力事業報告

- ・カリフォルニア ステイトユニバーシティー 17名 平成26年5月29日（木）
（アメリカ楽を勉強している大学生）
黒窯制作ビデオ上映の後、春期特別展「定本 樂歴代」を鑑賞する。
- ・表千家同門会愛知県支部 25名 平成26年6月22日（日）
黒窯制作ビデオ上映・学芸員レクチャーの後、春期特別展「定本 樂歴代」を鑑賞する。
- ・ノートルダム学院小学校同好会 平成26年6月22日（日）
篤人氏レクチャー・ビデオ上映の後、春期特別展「定本 樂歴代」を鑑賞する。
- ・大連外語大学 10名 平成26年7月16日（水）
黒窯制作ビデオ上映の後、夏期展「シリーズ 樂ってなんだろ 手捏ねと轆轤制作」を鑑賞する。
- ・高木神経科医院 12名（看護師と患者） 平成26年8月29日（金）
夏期展「シリーズ 樂ってなんだろ 手捏ねと轆轤」を鑑賞する。
学芸員が露出展示（轆など手にふれていただく。）の説明を行う。
- ・岐阜大学 茶道部 19名 平成26年9月2日（火）
黒窯制作ビデオ上映の後、夏期展「シリーズ 樂ってなんだろ 手捏ねと轆轤制作」を鑑賞する。
- ・AKP同志社留学生センター 所長：スザンヌ・ゲイ氏 大学生20名 平成26年10月1日（水）
黒窯制作ビデオ上映の後、夏期展「シリーズ 樂ってなんだろ 手捏ねと轆轤制作」を鑑賞する。
- ・関西通訳ガイド協会 63名 平成27年2月28日（土）
黒窯制作ビデオ上映の後、宗入生誕350年記念特別展Ⅰ「樂家五代宗入と尾形乾山」を鑑賞する。

Ⅲ-3. 学校・社会教育事業（地域・他団体関係）

学校・社会教育事業報告

3. 社会教育事業報告

社会教育事業1. 次期経営者研修 15代樂吉左衛門講演会

- 会場 プライトンホテル
日程 平成26年5月16日（金）
事業主体 WPO Japan
内容 テーマ「450年続く樂家の教えを語る」参加者11名
企業の次期経営者を対象に、450年続く樂家の教えをお話する。
講演の後、樂美術館にて、春期特別展「定本 樂歴代」を鑑賞。

社会教育事業2. 地藏盆

- 会場 樂美術館および駐車場
日程 平成26年8月23・24日（土・日）
事業主体 地域町内会
内容 黒窯制作ビデオ鑑賞の後、夏期展「シリーズ 樂ってなんだろう 手捏ねと轆轤制作」を鑑賞。窯道具について当代が解説、実際に手に触れていただく。また、地域にお住まいの能面師のお話を伺う。美術館駐車場を地藏盆会場とし、地域の触れあいの機会とする。

社会教育事業3. 茶の湯の森美術館15周年記念 15代樂吉左衛門講演会

- 会場 茶の湯の森美術館（岐阜県高山市）
日程 平成26年9月6日（土）
事業主体 茶の湯の森美術館
内容 茶の湯の森美術館15周年記念の事業 参加者230名
テーマ「長次郎と樂歴代」

社会教育事業4. 中日文化センター 15代樂吉左衛門講演会

- 会場 中日文化センター（名古屋市）
日程 平成26年12月20日（土）
事業主体 中日新聞社
内容 テーマ「本阿弥光悦 美の創造者」 参加者82名

社会教育事業5. 京都市中小企業技術センター 樂美術館見学

- 会場 樂美術館
日程 平成27年1月20日（火）
事業主体 京都市中小企業技術センター
内容 宗入生誕350年記念特別展を鑑賞するにあたり、学芸員が樂宗入と尾形乾山の関係についてお話する。参加者20名